

# 「手をつなぐ育成会」とは・・・

全国においては、1952年（昭和27年）、3人のお母さんが社会的差別を受けていた「知的な障害」のあるわが子のしあわせを願い、医療・療育・教育・福祉・就労等々の施策の整備・充実を求めて、仲間の親たちで手をつなぎ、関係者・市民の皆さんに呼びかけて「手をつなぐ親の会」（現・手をつなぐ育成会）を発足しました。

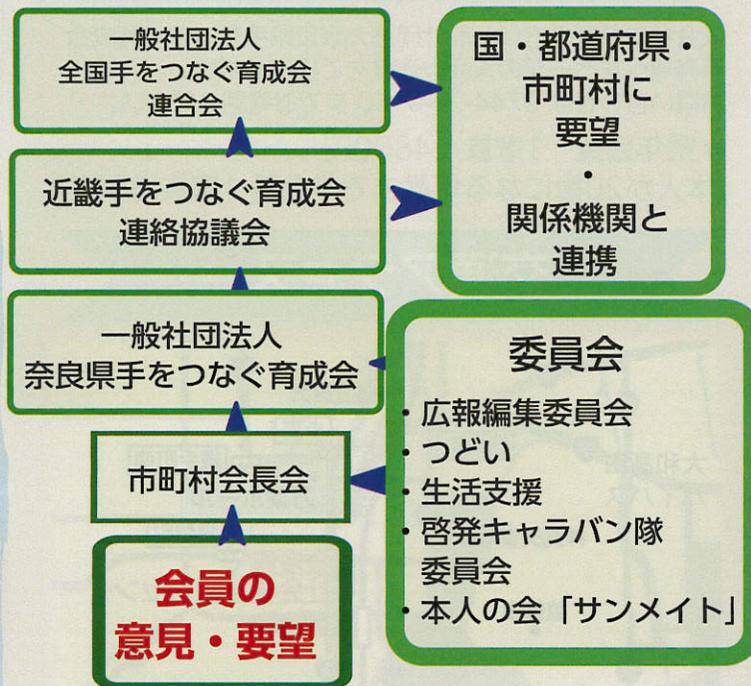
その呼びかけに応じて、奈良県においても障害児学級の先生とお母さんが立ち上がり、1963年（昭和38年）に「奈良県手をつなぐ親の会」（現・育成会）が結成されました。

奈良県では28市町村に支部があります。

全国では56団体（47都道府県育成会と8政令指定都市育成会、全国手をつなぐ事業所協議会）で構成され、その連合体が「一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会」です。

「知的な障害」のある本人たちが、社会の一員として、親なき後も支援を受けながら「自立」し「地域で安心して豊かに暮らす」ための地域づくりを目指し、啓発活動を展開しています。

# 組織図



# 育成会のあゆみ

- 1963年(昭和38年) 「奈良県手をつなぐ親の会」 発足
- 1964年(昭和39年) 「奈良県手をつなぐ親の会」 設立総会
- 1966年(昭和41年) 第3回総会に於いて養護学校設立について決議、各関係方面に請願書提出
- 1969年(昭和44年) 啓発活動の一環として「愛のひとしづく運動」（後の「この子らを世の光に」運動）鉛筆販売開始
- 1971年(昭和46年) 県立西の京養護学校開校
- 1973年(昭和48年) 第1回奈良県福祉振興大会（研究大会）
- 1974年(昭和49年) 県立養護学校設立運動署名陳情
- 1975年(昭和50年) 県立大淀養護学校開校
- 1976年(昭和51年) 県立高等養護学校開校
- 1977年(昭和52年) 精神薄弱者担当職業相談員制度発足と同時に1名配置（高田公共職業安定所）
- 1978年(昭和53年) 福祉作業所建設資金カンパ運動を全県に実施
- 1979年(昭和54年) 県内初の福祉作業所が五條市に誕生
- 1980年(昭和55年) 養護学校義務制発足
- 1987年(昭和62年) 第1回青年教室開催（本人の余暇活動）
- 1987年(昭和62年) 第1回新成人のつどい開催（以後毎年開催）
- 1987年(昭和62年) 県立二階堂養護学校開校
- 1987年(昭和62年) 奈良県手をつなぐ育成会在宅障害者自立訓練事業所開所
- 1999年(平成11年) 「精神薄弱」の用語が「知的障害」に改正
- 2000年(平成12年) 奈良県障害者110番相談室「ホットラインほほえみ」受託
- 2000年(平成12年) 第49回全日本手をつなぐ育成会全国大会なら大会開催
- 2003年(平成15年) 社会福祉法人奈良県手をつなぐ育成会入所更生施設「やすらぎの丘」ならびに通所授産施設「たかとりワークス」開所
- 2003年(平成15年) 「青年教室」を「本人の会・サンメイト（太陽のなかま）」としてスタート
- 2012年(平成24年) 「一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会」に改名
- 2012年(平成24年) 「『知ってほしいな！』わたしたちのこと」啓発リーフレットが完成、配布スタート
- 2013年(平成25年) 奈良県手をつなぐ親の会結成50周年記念事業開催
- 2020年(令和2年) 啓発キャラバン隊「ならほんわか♡はーと」結成

# 権利擁護

本人の権利を守ります

本人たちの活動の場

# サンメイト

奈良県手をつなぐ育成会

# 基本方針

- (1) 「この子らを世の光に」する運動を推進しよう。
- (2) 本人と家族の人権を確立しよう。
- (3) 地域で当たり前で暮らせる生活環境を創りだそう。

# 「この子らを世の光に」文具啓発

県内特別支援学校、小中学校でご協力いただいています



# 啓発活動

それぞれの個性を大切に  
だれもが暮らしやすい  
社会になるように

「『知ってほしいな！』わたしたちのこと」リーフレットの配布・啓発活動

